

# オープンデータ(GTFS-JP・GTFS-RT)に対応したリアルタイム混雑情報付きバスロケーションシステム

## 京都市内の公共交通の現状と取り組みへの経過

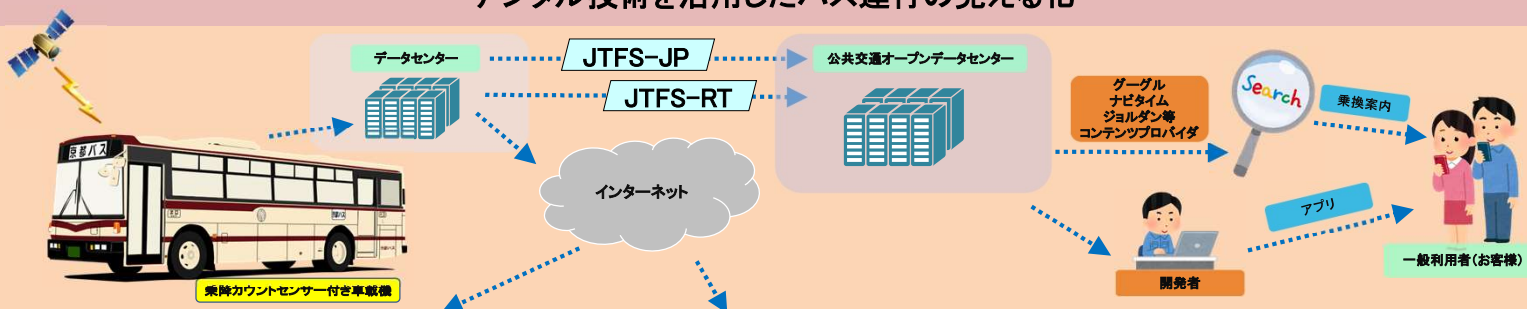
- 京都市の概況:人口約146万人、市域面積は約827.8km(東西約29km, 南北は約49km)
- 京都市の公共交通ネットワーク:8つの鉄道事業者、9つのバス事業者が運行
- 観光客の入洛時の交通手段についてマイカーが約29%(平成22年)から9%(令和元年)に低下し公共交通機関の比率は90%を超えていたが、コロナ禍によりマイカー比率が再び増加に転じ、パークアンドライドの利用も減少したため、有名観光地の渋滞が顕著になり、定時制が確保できない
- 公共交通の利用者数は平成22年度と令和元年度を比較すると鉄道は約14%、バスは約17%の増加

オーバーツーリズム対策として、公共交通の利便性向上と、観光地の分散化が必要

- 国土交通省観光庁の令和2年度3次補正予算事業である、既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業にエントリー。バスロケ機器と乗降カウントセンサーを車両に搭載し、リアルタイムで混雑情報を利用者に発信する「交通機関の混雑の見える化実証事業」を実施し、混雑情報を含めたリアルタイムデータ発信の有用性と、実運用に向けた課題の検証を行い、今般の取り組みにつなげています。

## 京都バスの取り組み

### デジタル技術を活用したバス運行の見える化



### バスロケーションシステムの導入

目的地に行くバスの到着時間、所要時間に加え、混雑情報を追加することでお客様の不満を緩和します。



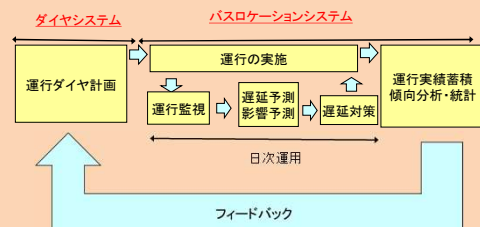
### スマートバス停の導入(計画中)

お客様に広告やお知らせや時刻表を配信するスマートバス停を令和5年度に一部停留所で導入する予定です。



### 実績に基づく改善サイクル

バスロケで取得した運行実績や乗車人数実績を次のダイヤ改正に反映させて、ダイヤの品質向上を図ります。



## 今後の検討テーマ

更なる定時制、速達性、快適性の向上とわかりやすい情報提供

観光客の回遊性の向上

各事業者の枠を超えた路線・ダイヤ・乗継の改善



▽京都バスナビ

<https://kyotobus.bus-navigation.jp/wgsys/wgs/search.htm>

▽京都バスHP

<https://www.kyotobus.jp/>

お問い合わせ



京都バス株式会社

運輸部  
TEL.075-871-7521  
FAX.075-881-2005

実施: 京都バス株式会社  
協力: 近畿運輸局  
京都市都市計画局歩まち京都推進室  
NECネクソソリューションズ